

## そうなんだ！ほろのべ 「幌延町の高齢化率」

幌延町の65歳以上の方は630人(平成24年7月末現在)で、高齢者比率は23.61%です。

全国の数字を見てみると、平成24年9月15日現在の65歳以上の方は3,074万人で、総人口に占める割合は24.1%となっています。前年同期と比べると、102万人増加していて、人口、割合ともに過去最高だそうです。団塊の世代と呼ばれる方々が65歳に到達し始めた

ことなどが考えられます。

更に、平成24年3月末のデータでは、わが国の高齢化率は23.4%、北海道の高齢化率は25.3%、宗谷管内の高齢化率は27.5%、幌延町の高齢化率は23.9%でした。75歳以上の後期高齢化率では、国は11.6%、北海道は12.7%、宗谷管内は14.4%、幌延町は12.8%となっています。

幌延町では、子どもも高齢者も、そして働き盛りの人も、みんなが笑顔で安心して暮らせるまちづくりを今後も進めていきます。

気象台一口メモ

## 宗谷地方における津波

1938年1月1日に稚内地方気象台(旧稚内測候所)が設置されてから、今年で75年を数えます。この間、宗谷地方で津波が観測された地震は22回あり、3~4年に一度は津波に襲われていることとなります。中でも次の3例では被害も発生しています。

### ○1940年8月2日 北海道北西沖の地震 マグニチュード7.5

現地調査によると利尻島沓形で3m、礼文島香深で1.5mの津波を観測しました。天塩川河口付近で死者10名を数えた他、稚内では漁船・漁具の流出が発生しました。

### ○1947年11月4日 北海道西方沖の地震 マグニチュード6.7

津波の高さは利尻島沓形で約2mとなり、小舟の破損や漁具に損害がありました。

### ○1993年7月12日 「平成5年(1993年)北海道南西沖地震」 マグニチュード7.8

現地調査によると豊富町稚咲内で1.6m、利尻島鷺泊で1.2mを観測しました。稚咲内では、津波が岸壁を超えて押し寄せ、小型漁船1隻が港内で転覆破損しました。

このように、宗谷地方では幾度も津波が来襲し、被害も発生しており、決して油断できません。津波の特徴を知って、津波災害に対して備えることが大切です。

### ◎津波は猛スピードで、急に高くなりながら来襲します！

津波の速度は海岸付近でオリンピック短距離の選手並です。津波が見えてから避難をはじめても間に合いません。また、陸地に近づくにつれて後から来る波が前の津波に追いつき高くなるほか、入江や湾の奥、岬などでは波が集まり、特に高くなります。

### ◎津波は繰り返し襲ってきます！

津波は何度も繰り返して来襲し、長い場合は1日以上も続きます。また、第1波よりも、その後の波の方が高くなる場合があります。

### ◎津波は膨大なエネルギーを持っています！

海の表面から深い海底までの海水全てが動いてやってきます。波長が長いので、数分から数十分もかけてすさまじい破壊力とともに流れ込み、引いていきます。50cmの津波でも大人でさえ耐えられず倒されて流されます。

### ◎引き波から始まるとは限りません！揺れがなくても津波がくることがあります！

津波は最初に海水が引くとは限りません。また、海外など遠い場所の地震によって、揺れを感じなくても津波が時間をかけて襲ってくる場合があります。

津波から命を守るためには「迅速な避難」しか方法はありません。海辺で地震の揺れを感じたら、津波警報・注意報を待たずにただちに避難を始めて下さい。地震の揺れを感じなくても、津波警報・注意報が発表されたらただちに、より高い場所に、より海から遠くへ避難して下さい。

また、津波警報・注意報が解除されるまで、決して、海岸に近づいてはいけません。

仕事や用事、レジャーなどで海岸に近付くときは、携帯電話やラジオなどで津波警報・注意報が入手できるようにして、津波災害から身を守って下さい。



※稚内地方気象台ホームページアドレス

<http://www.jma-net.go.jp/wakkanai/index.html>

※問い合わせ先

稚内地方気象台防災業務課

(電話：0162-23-2679)